特集
Feature

Z世代&X世代の友活アプリ

顔も名前も知らないオンライン上の友だち作りが当たり前の時代。今回は中国で20代・50代それぞれに人気の〝友活（友だちを作る活動）、用アプリを比較し、中国の友人マッチングのトレンドを探ってみました。

Z世代愛用 Soul

1995～2010年生まれ

直感でマッチング

友だちはMBTIで見付ける

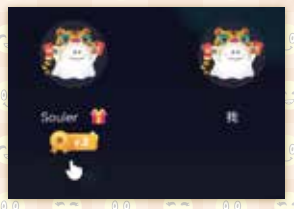
「Soul」は登録時に性格診断テストを実施し、その結果をもとにグループ（星）に分けられる。そこから自分と気が合いそうな人を探し、コンタクトを取る仕組みだ。また自動的に性格が合いそうな人とマッチングし、どんどん知らない人からメッセージが飛んでくる。まず直接話してみて、友だちになれそうかどうかを判断しよう。

自己表現はタグ付けでする

プロフィール欄にはタグがズラリと並び、好きなタグを選ぶだけで自己紹介が完成する。職業、趣味、性格のほか「精神年齢3歳」「電動バイクの王子」などよくわからない紹介文も。

交流は声でする

「Soul」は音声でコミュニケーションが取れるツールがたくさん。Twitterの「スペース」のようなお喋りグループや、見ず知らずの人と1対1でトークする機能もある。



直感でダイレクトに繋がる

Z世代に向けたコミュニティアプリ「Soul」。かなり直感的かつダイレクトに知らない相手と繋がれる仕組みが新しい。

Z世代より上の世代の友だち作りは、まず自己紹介をして、相手をよく知ってからあいさつをして…などのステップを踏むものだ。しかし「Soul」ではアカウント登録が済めばすぐ友だちマッチングが始まり、自分と性格が近い人からどんどんコンタクトが来て、会話がスタート。性別・性格・居住エリアしか公開していない人が多く、だからこそ年齢や職業などを気にせず〝ソウルメイト〟が作れるのかもしれない。

また自己紹介のタグ付けをしたり、様々な性格診断テストを受けたりすることでプロフィールを充実させると、コンタクトが増える。微信モーメンツのような投稿もでき、そこでは彼氏・彼女募集をしている人もチラホラいた。

声の交流を楽しもう

「Soul」のもう一つの特長が、肉声を使ったコミュニケーション機能が充実していることだ。アプリ内には、各テーマに沿ったトークを楽しむ「群聊派対（お喋りパーティー）」や1対1のボイスチャットをその場でマッチングする「語配（音声マッチング）」機能があり、見ず知らずの人たちと会話できる。何も知らない相手と会話が弾むのか…？　とそんな心配をしてしまうのだが、音声マッチングでは一緒にドラマや音楽を聴きながらお話しすることもできるようだ。

全く新しい友活を楽しみたい人は、アプリを覗いてみてはいかが？

X世代愛用 美篇

1960～70年代生まれ

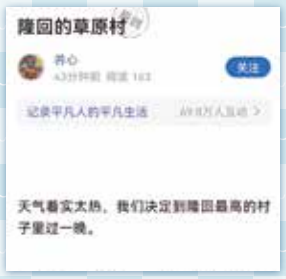
趣味で広がる友だちの輪

友だちはサークルで見付ける

「美篇」は趣味や職業などでカテゴリ分けされたサークルが存在し、そこに自分が作成した文章や写真を投稿しながら、同じサークル仲間と交流する仕組み。撮影、グルメ、園芸、家庭の生活などが人気のカテゴリで、それぞれに手の込んだ作品や写真がアップロードされている。

自己表現はブログでする

「美篇」では自己紹介代わりにブログを作成し投稿する。いかに読み応えのあるブログを作成するかが腕の見せどころだ。それぞれに美しいBGMが付いている。



交流はコメント欄でする

サークル仲間との交流はブログのコメント欄で行う。直接メッセージを送る機能もあるが、基本はサークル掲示板でコメントを残したり「いいね！」を押したりして友好を深める。

定年後の趣味友探しに

50～60歳代に根強い人気を誇る友活アプリ「美篇」。こちらは、趣味、年代、住まいなどによってカテゴリ分けされた「サークル」に参加し、そこに写真や文章をアップすることで交流するというシステムを取っている。

実際のユーザーを覗いてみると、ターゲット層よりももう少し高め、60歳代がメインのユーザーのようだ。様々なカテゴリがあるが、人気なのは「撮影」「グルメ」「家庭生活」など。それぞれのカテゴリ内に色々なテーマのサークルが設立されており、「孫がいる生活」グループではたくさんのちびっ子たちの写真で溢れ、「長年の友よ、再び集まろう」グループでは楽しそうな同窓会の様子が、モノクロの小学校時代の写真とともに次々とアップされていて思わずじっくり見てしまった。

味わい深いブログ

「美篇」は主にブログ形式の文章や写真をサークル内に投稿し、そのコメント欄で仲間とコミュニケーションをする。このブログが何とも独特で、煌びやかな背景とともに必ず流れるBGMが一種独特の雰囲気。コメント欄は文字ではなく、バラやサムズアップアイコンが連打された内容ばかりが並び、その返信もスタンプアイコン連打のみなど、傍から見るとよくわからない交流だが、本人たちは楽しんでいるのだろう。

高齢化社会が進む中国で、仕事を定年退職し、第二の人生を謳歌する人たちの暮らしぶりが垣間見られるこのアプリはとても興味深い。私たちがこれで友活するのは少し難しいかもしれないが、ミドルシニアの趣味嗜好を知りたい人は使ってみてもいいかも。